



2025～2026 年度
RI 会長メッセージ

UNITE FOR GOOD
よいことのために手を取りあおう

豊橋北RC
会長テーマ

利他と言う高みに登る為に
本気でやるべきことを
皆でやりましょう

2760 地区

例会日=毎週火曜日 12:30 例会場=ホテルアークリッシュ豊橋 会長 高坂泰弘 副会長 酒井和良 幹事 川口和樹

豊橋北ロータリークラブ 〒440-0075 豊橋市花田石塚 42-1 豊橋商工会議所内 Tel<0532>53-1000 FAX<0532>53-6447

第 3 2 3 0 回例会

11月 11日〈火〉

vol. 70 No. 13

ゲスト : アルファロ フェレイラ君・ディン ゴック ドウク君(サンクス奨学生)
ビジター : なし
出席報告 : 会員 58 名 欠席 17 名 出席率 70.69% 前々回修正 92.98%
ロータリーソング : 奉仕の理想 メニュー: 和食

会長挨拶・報告



高坂泰弘会長

始めにゲストのご紹介をさせていただきます。サンクス奨学生のアルファロ フェレイラ君、ディン ゴック ドウク君です。

11/8(土)、9(日)に 2760 地区本年度地区大会が開催されました。2 日目は生憎の雨でしたが、多数の会員の皆様にご出席を賜わり大変お疲れ様でした。

また、全員登録の要請に皆様応じていただきまして、改めて感謝申し上げます。

今年度は東三河分区よりガバナーが輩出されたということで、豊川 RC がホストクラブを務められました。豊川 RC の皆様のご尽力には本当に頭が下がる想いでした。

大会 1 日目はプラットでのステージで、米山奨学生として我らのハサン君も登壇しました。一年間の交換留学を終えた 7 名の青少年交換学生の皆さんがその成果をスピーチされましたが、目覚ましい人間的成长を見せつけられました。最も私に響いたのは「何もしなければ誰も助けてはくれない、けれど自分で模索し努力をすれば援助が向こうからやってくる」という言葉でした。来年度には橋本会員のお嬢様も交換学生として海外へ飛び出します、クラブとしても熱烈応援を続けたいと思います。

大会 2 日目は豊川市のシントーハートアリーナで開催されました。陸上自衛隊による演奏は大変に迫力のあるもので感動致しましたが、後半は寒さが会場全体に忍び寄り、かなりの途中退出者が出てしまったことは残念でした。

来年の地区大会は建て替えが完了した名古屋城近くのナゴヤキャッスルホテルで開催されることが決まっております。ただしエスペシオの名を冠しラグジュアリ一度を一挙に上がりましたので、大会登録料に跳ね返らないか心配であります。

さて、点鐘前に熊田 S. A. A. からも説明をさせていただきましたが、本日の例会食は微妙なハラル食となってしまい皆様も驚かれたと思います。ハラルとはイスラム教の教えにおいて「許されている」という意味のアラビア語で、食べる物だけでなく行動、行為、服装などといった全てのものに適応されます。それがハラルかどうか=神に許された「もの」や「こと」なのがポイントです。ハラルの対義語がハラムで、例えば食物では豚肉とアルコールが該当します。豚が含まれた餌を食べた家畜類、豚に触れた食品、調理過程でのアルコールも禁忌となります。神への服従を日々の行動に表すムスリムへの寛容が、私達

にも求められる時代となりました。

最後に一点、RI の規定審議会において RI 定款が若干変更されました。全てのロータリークラブの定款はそれに従うものとなっておりますので、当クラブの定款も変更となります。そのポイントをかいづまんでご説明いたします。

- ① 五大奉仕の社会奉仕に「地域社会における積極的平和を目指す」を追記
- ② 現年度の収入と支出の中間報告を 12 月末から 1 月末までに、に変更
- ③ クラブの会員基盤の記述に、年齢・性別・民族的多様性に加えて「ジェンダー」が追記されました
- ④ 「地区研修・協議会」を「クラブ・リーダーシップ・ランニングセミナー」と名称変更

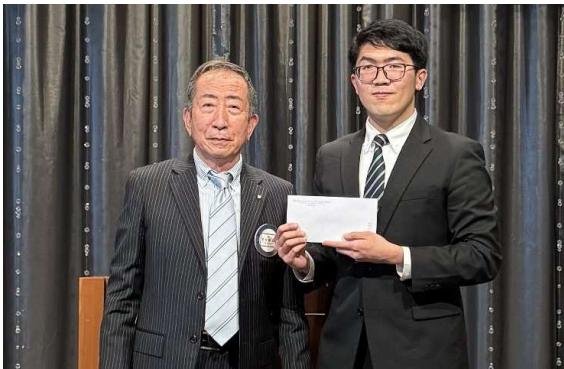
いずれも根幹に関わるものではありません。今日のアナウンスをもちまして、当クラブ HP の会員専用ページ「ダウンロード」に掲載されている「豊橋北ロータリークラブ定款」を差し替えさせていただきます。

【サンクス奨学生奨学金授与】

ディン ゴック ドウク君



今回は博士課程の必須科目であるインターンシップに参加したことについて簡単に総括します。先月、私は日本の企業でマシンを一から作るという実習を行いました。専門と全く違う内容で最初はとても不安でしたが、実習を通して適応の大切さや、卒業後に自分の専門と違う仕事をすることになった時にどうすればよいかということを学ぶことができました。



今日は二つのことについてお話ししたいと思います。まず研究についてです。先週、学会に参加し、ポスターを作って皆さんに説明しました。学会では私よりも専門的な研究を行っている人達から色々な質問をされ、自分もまだだと感じました。これからもっと頑張らなくてはいけないという学びを得ました。

二つ目は果物の話です。最近は蒲郡のミカンを買いました。とてもおいしかったです。安くて瑞々しく、ビタミンCも豊富でとてもおすすめだと思いました。

幹事報告

川口和樹幹事

- ①現時点で本年度は出席 100%を一度も達成しておりません。例会を欠席された方はマークアップをしていただくよう、よろしくお願いします。
- ②新会員通知文を状差しに配布しました。(欠席者には郵送)
- ③豊橋東 RC より地区補助金事業「中垣内祐一氏講演会」(11/23(日)開催)について再度ご案内がありました。

例会変更

11月 19日(水) 豊橋東 RC

11月 20日(木) 豊橋 RC

11月 21日(金) 豊橋ゴールデン RC

11月 25日(火) 豊橋北 RC

例会休会

11月 21日(金) 蒲郡 RC

11月 24日(月) 豊橋南 RC

11月 25日(火) 豊川宝飯 RC 田原パシフィック RC

委員会報告

ロータリー財団委員会

安達道行委員長

渡辺康二会員より 180 ドル、山内有恒会員より 150 ドル、藤井純一会員より 100 ドルの寄付がありました。有難うございました。

米山記念奨学委員会

松尾浩志委員長

- ①山内有恒会員、渡辺康二会員、藤井純一会員より 1 万円の寄付がありました。有難うございました。
- ②次回の例会は地区米山記念奨学委員会の安藤壽子委員(蒲郡 RC)をお招きし、「米山記念奨学事業について」というテーマでお話をいただきます。

豊橋北 RC 奨学金基金

藤井純一委員長

鈴木大次郎会員、八木基之会員、下山暢子会員、川口和樹会員、橋本努会員、辻直樹会員、水越英明会員、今井教博会員より 1 千円の寄付がありました。ありがとうございました。

ニコニコボックス

水越英明会場副委員長

安達道行会員	11/9(日)とよはしまちなか広場でインターナショナルフェスティバルを開催しました。生憎の雨でしたが約 4,000 名にご来場いただきました。ありがとうございました。
藤井純一会員	本日例会を担当いたします。よろしくお願ひいたします。
伴俊樹会員	本日から 2 か月間、司会の大役を務めさせていただきます。不慣れな司会ですがよろしくお願ひします。
高坂泰弘会員 川口和樹会員	サンクス奨学生アルファロ フェレイラ君、本日の国際奉仕担当例会での会話、本当に楽しみにしております。何卒よろしくお願ひいたします。

本日のプログラム

担当 : 国際奉仕

藤井純一委員長



前回の担当例会では「国際間を知る」というテーマで経済についてのお話を聞いていただきました。本日の例会は「親善平和を推進する」というテーマで、サンクス奨学生のアルファロ フェレイラ君にご登壇いただきます。ファロ君とは今回の例会の為に何度もやり取りをさせていただきましたが、誠実で勤勉で素晴らしい青年だということを実感しました。彼は現在 25 歳来日して 8 年目というのですが、自分が 25 歳の時、パワーポイントを作つて異国で母国語以外で話をするなどということは絶対にできなかったと思います。皆さんも是非そういう観点でお話を聞いていただければと思います。それではよろしくお願ひいたします。

【インドネシアから豊橋へ —学びと成長の 7 年間—】

アルファロ フェレイラ君



皆さん、こんにちは。ファロです。初めに今回スピーチの機会をくださった豊橋北 RC の皆さんに感謝いたします。また、このスピーチの準備をサポートしてくださった藤井委員長にも心からお礼申し上げます。

本日は私のバックグラウンドと日本での経験についてお話しします。私の名前はアルファロ フェレイラ、通称ファロです。インドネシアのスラバヤ市出身です。経歴を簡単に紹介します。

18 歳のとき、スラバヤの高校を卒業して日本に来ました。まず大阪で日本語を勉強し、その後、豊橋技術科学大学(TUT)に入学、学部から在学しており、現在は修士です。生命科学専攻で遺伝子工学の研究をしています。

私の出身地であるスラバヤはインドネシアで 2 番目に大きい都市で、活気のある港町です。おすすめの場所は「パベアン市場」という伝統的な市場です。スパイスや海産物が並び、東南アジアらしい雰囲気を感じることができます。スラバヤには日本にはないおいしい料理がたくさんあります。その一つが「セマンギ」というスラバヤ料理です。セマンギは四つ葉の野菜を使った料理で、ピーナッツソースが特徴です。

次に家族についてお話しします。私の家族は両親、姉、弟、そして私の 5 人です。両親は元々不動産関係の仕事をしていま

したが、今は退職しています。姉は小さなビジネスをしています。弟はインドネシアの大学でコンピュータサイエンスを専攻しています。私の家族のモットーは「絶対に『無理』と言わない！」で、これは私の人生の鉄則の一つでもあります。家族との仲はとても良く、私にとって家族は一番大切な存在です。

私の一番の趣味は料理です。小さい頃からか料理が好きで、今も週末はよく家で料理をしています。和食、インドネシア料理、発酵食品、パンなど、いろいろ作ります。また、植物も大好きです。大学の寮のベランダでハーブなどの植物を育てています。料理と植物が好きなので、畑が多い豊橋市に住めることをとても嬉しく思っています。

私が日本に来た理由は3つあります。

1つ目は『ドラえもん』です。子どものころからドラえもんが大好きで、漫画を読むうちに日本の文化や生活に憧れるようになりました、「いつか日本で生活してみたい」と思うようになりました。

2つ目は日本の食べ物です。日本の食べ物は「おいしくて、きれいで、体に良い」と思っていました。もっといろいろな和食を味わいたいと思いました。

3つ目は日本の技術です。昔から生物学が好きで、大学では生物学を学びたいと思っていました。そして未来の技術を創る日本、特に医療やロボット、バイオの先端技術を発明した日本の技術の力を知りました。そのため、科学が好きな私にとって日本は最高の留学先だと感じました。

日本で7年間暮らして、特に印象に残っていることが3つあります。

1つ目は日本人のまじめさです。コンビニ、レストラン、駅、どんな仕事でも皆さん本当に誠実に働いていると感じます。

2つ目は四季の美しさです。インドネシアには季節が2つしかないで、四季がある日本の自然はとても新鮮です。7年経った今でも、季節が変わるたびにワクワクします。例えば秋には紅葉や海鮮、柿を楽しんでいます。

3つ目は和食の豊かさです。日本の食文化は本当に多様で、毎月新しい食べ物を発見します。最近は沖縄の海藻ぼもずくを食べてみたり、大根の葉っぱもおいしいことを知りました。

この3つの理由から、私はこれからも日本に長く住みたいと思っています。

生活には慣れてきましたが、まだ学ぶことがたくさんあります。最近は「ビジネスマナー」について勉強しています。例えば「なるほど」という言葉を目上の人々に使うのが失礼だということを知りませんでした。今は相手を不快にさせない日本語や、状況に合った丁寧な表現を意識しています。

また、もうすぐ豊橋を離れる予定ですが、「豊橋を恋しく思うかもしれない」と感じています。友達も多く、住みやすい町なので、きっと離れても忘れない場所になると思います。

文化の違いとして一番感じたのは、「時間の考え方」です。日本の若者は約束や時間をとても大切にしていて、責任感が強い人が多いと思います。一方でインドネシアの若者は時間に少しゆるい面もありますが、その分人との距離が近く、温かい人が多いです。日本の友達もインドネシアの友達も、それぞれ違う魅力があると思います。

修士課程では、遺伝子工学を使って「レモンの香りを出す酵母」を作る研究をしています。主に3つの技術を学びました。

遺伝子工学：レモンから遺伝子を取り、酵母に導入する。

発酵技術：酵母を最適な環境で発酵させる。

化合物検出：酵母が作った物質を分析する。

失敗することも多いですが、研究がとても楽しく、毎日新しい発見があります。

将来は、日本とインドネシアの文化と技術の架け橋になりたいと思っています。特に「食文化」「技術」「考え方」の分野で

貢献したいです。最近では技科大の留学生の友達と一緒に日本語教室を開いており、簡単な日本語や日本の文化などを教えていました。日本で学んだ「まじめさ」や「食文化・技術」をインドネシアに広めたいと思っています。

そしてインドネシアの「ユニークな食材」を日本に紹介したいと考えています。今までにも文化紹介の一環として、技科大祭の時にインドネシアの焼きそばを作って提供する企画を行いました。日本人達にインドネシアの食べ物を紹介したり、意見交換を行ったりしたこともあります。今後も色々なプロジェクトを行っていきたいと思います。

これで私のスピーチを終わります。ご清聴ありがとうございました。

Q. 現在取り組んでいる研究についてもう少し詳しく教えてください。

A. 研究で使用している酵母は普通のパン、お酒、ビール等の酵母です。ビール酵母は発酵する時に糖をアルコールに変換する機能があります。レモンから抽出した遺伝子をその酵母の中に組み込んで、酵母が発酵する時に糖をアルコールに変換するだけでなく、レモンの香りも生産できるという酵母を開発しています。理論上では可能だと考えられますが、今の段階ではまだレモンの香りは検出できていません。今は機械でレモンの香りを検出する方法を学んでいます。

Q. 日本ではアルバイトも経験されたと思いますが、働き方について母国と日本の違いなどはありましたか。

A. 最初のアルバイトは回転寿司店のお皿洗いでした。その後、コンビニやレストランなどでもバイトを経験しました。その中で感じたことは、日本人はバイトの時に一人が色々な仕事をしなければいけない、出来なければいけないということです。例えば吉野家で店にいる店員が数人しかいないということはインドネシア人にとっては驚きです。インドネシアでは仕事が分担されており、一人で一種類の仕事しかやらせません。しかし、日本では食べ物の準備、レジ打ち、お皿洗い、掃除等、一人の人が全部できます。この様な部分でも大きな文化の違いを感じました。

Q. 『ドラえもん』以外に好きになったアニメはありますか。

A. 最近一番好きなアニメは『葬送のフリーレン』というアニメです。小説版も読みました。日本語の難しさが丁度よく、日本語の勉強にもなっています。

Q. 遺伝子の研究で酵母を使った場合、どのくらいのスパンで結果が確認できますか。

A. ビール酵母を使った場合は一週間程度で結果が分かれます。様々な論文を参照しても、やはり大体一週間程度で発酵のプロセスが完了するとされています。

Q. インドネシアに行った時にとても親目的な国だと感じました。日本に来てインドネシア陣と日本人の共通点は何か感じましたか。

A. 相手の気持ちを大切にするという文化は似ているのではないかと思います。インドネシア人は自分の個性よりも和を大切にしようとする意識があり、これも日本人と共通していると思います。



監修・発行	会場委員会
写真撮影	会場委員会